

第367号

2013年

3月12日

どついたちニューズ

全損保日動外勤支部

東京都中央区銀座5-13-7

東銀座東京海上日動ビル1階

電話 03-3542-9857

FAX 03-3542-9858

教宣部 発行

第134回 支部定期大会

要求実現にむけ 団結して

2013 春闘をたたかいぬこう

全議案を 全代議員一致で可決承認

第134回支部臨時大会が、3月9日（土）、東京・御茶ノ水の中央大学駿河台記念館で開催されました。

大会では、まず2013春闘をたたかうにあたって、澤田委員長より「今春闘は労働者のみならず、社会全体から“賃上げ”に焦点が当てられ、労働組合の役割発揮が求められている」と情勢提起が行われ、その後春闘要求について趣旨説明が行われました。代議員からは「要求内容を全面的に支援する。全員でたたかいぬこう」など議案を補強・補足する意見が相次ぎました。解決すべき課題として位置付けている「等級格付け問題」や「業績賞与算出スキーム」など労働条件に関する要求についても執行部方針が支持されました。また、「闘争解決記念日である2月3日は私たちにとって特別な日だ。団交や事務折衝をセッティングしたり、組合員全員が参加するような行事をおこない、さらなる団結をめざそう」という意見が出されるなど、全議案は全代議員一致で力強く可決承認されました。



私たちは、制度廃止に立ち向かった自らの闘争を通し、「“団結”してたたかうことで『生活』『雇用』『労働条件』は守られる」ということを、身をもって経験しました。この経験を財産とし、迎える2013春闘を最後までたたかいぬきましょう。

(次ページに大会決議を掲載)

2013春闘を全員の団結でたたかい、将来へつなげる決議

2013春闘は、新たな人事制度のなかでたたかう3回目の春闘になる。

昨年から取りくんだ「ひとり一言運動」では、職場での歪みと矛盾がつづられ、「何とかしたい」「何とかしてほしい」という思いが、まさに労働組合に求められていることが明らかになった。

損保業界は再編「合理化」情勢第二幕のなかで、国内外での利益確保のため、従業員への退職の強要や他社への出向・転籍など、さらなる合理化をすすめている。企業の乱暴な論理は、従業員に「将来への不安」や「押し付けられる矛盾や被害への不満」となり、人間らしく働ける、やりがいや満足感の持てる状況にはほど遠い。私たちはこのようななか、全損保の旗のもと定期大会以降、労働実態を改善するために、職場から声を上げ、会社政策をただし、秋のたたかいをすすめてきた。

また今春闘は、政治・経済情勢からも労働組合としての役割発揮が求められる春闘である。要求作りにおいては、テーブル表の引き上げ論議を始め、和解条項がきっちり守られているか、公正・公平な運用がなされているか、職場の不満・不安はどこにあり、いかに解消していくのかを中心に論議をすすめてきた。

等級格付け問題でも、私たちの問題意識を経営にぶつけ続けた結果、「期限にとらわれずに協議する」との発言を引き出した。業績賞与算出スキームの変更についてもビラの配布など社内世論に訴える取りくみをすすめた。

今臨時大会では、全組合員が結集し、私たちの運動のすすめ方や「これから」について、知恵を出し合い真剣に論議が深められ、掲げた要求に確信を持ち今春闘をたたかうことが確認された。

私たちを取り巻く現状は、経済情勢、業界情勢、社内情勢、どれを見ても先行き不透明である。厳しい状況は続いているが、私たちは、経営からの分裂攻撃、制度廃止とたたかい、いまここにいることは紛れもない事実である。資本の論理ですすすめられる攻撃に正面から対峙していく姿勢を改めて築き上げようではないか。

ひとりでは小さな力も、労働組合に結集することで現実のものとなることはすでに組合員全員が経験している。全損保日動外勤支部全員の団結でわたしたちの「将来」を切り開いていこう。

2013年3月9日

全損保日動火災外勤支部 第134回支部臨時大会